

授業科目名	工業簿記論Ⅰ	科目コード	574		
開講クラス	総合ビジネス科	コース	会計実務コース	学 年	1 年
担当教員	山下 貴光				
	実務経験教員 (<input checked="" type="radio"/> 有) ・ 無) 実務経験内容 企業(経理業務)勤務				
開講時期 1コマ90分	<input checked="" type="radio"/> 前期 ・ 後期 ・ 通年 ・ 特別講義 ・ その他		授業コマ数	32 コマ	
	必 須 ・ 選 択 ・ <input checked="" type="radio"/> 選択必須		時 間 数	64 時間	
使 用 テキスト1	書 名	合格テキスト日商簿記2級工業簿記			
	著 者	TAC(株)			
	出版社	TAC(株)出版事業部			
使 用 テキスト2	書 名	合格トレーニング日商簿記2級工業簿記			
	著 者	TAC(株)			
	出版社	TAC(株)出版事業部			
参考図書					
授業形態	<input checked="" type="radio"/> 講義 ・ <input checked="" type="radio"/> 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他 ()				
<授業の目的・目標> 高度な商業簿記・工業簿記(原価計算を含む)を修得し、財務諸表の数字から経営内容を把握できるよう取り組み、日本商工会議所簿記2級取得をめざす。					
<授業の概要・授業方針> 企業の工取引を理解し、製造業における原価計算の重要性を理解し、コストを管理することが、どのように役立つかを理解する。					
<成績基準・評価基準> 出席状況、期末試験、日商簿記2級取得、全経1級原価計算・工業簿記に向けた取り組みなどで総合評価する。					
<使用問題集・注意事項>					
<授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他>					

授業科目名	工業簿記論 I	
回	授 業 内 容	備 考
1	工業簿記と原価計算	
2	原価とは	
3	個別原価計算と総合原価計算	
4	工業簿記の勘定連絡図	
5	材料費とは	
6	材料の購入	
7	材料の消費	
8	月末材料の管理	
9	労務費とは	
10	労務費の分類	
11	賃金の支払い・消費	
12	経費とは	
13	経費の消費	
14	個別原価計算	
15	製造直接費の賦課	
16	製造間接費の予定配賦	
17	製造間接費配賦差異分析	
18	基準操業度	
19	部門別個別原価計算	
20	各製造部門と補助部門への集計（第1次集計）	
21	補助部門費の各製造部門への配賦（第2次集計）	
22	単純総合原価計算とは	
23	総合原価計算の手続き	
24	月初仕掛品がある場合の計算	
25	加工費の予定配賦	
26	正常仕損の処理	
27	総合原価計算における減損	
28	工程別総合原価計算とは	
29	半製品	
30	組別総合原価計算	
31	等級別総合原価計算	
32	工企業の財務諸表	